

令和 7 年度放射薬学教科担当教員会議 議事録

日時: 2026 年 3 月 29 日 12:00~12:50

会場: 関西大学千里山キャンパス第 3 学舎 1 号館 1F A101

出席者数: 61 名

議長: 向 高弘 (神戸薬科大学)

議事次第

1. 第 111 回薬剤師国家試験問題 WG からの報告 (加藤 真介先生, 横浜薬科大学)

第 111 回薬剤師国家試験 (2026 年 2 月実施) における放射薬学関連問題について、WG よる検討の結果を報告した。

まず、出題状況として、放射薬学関連問題は必須問題では出題がなく、一般問題において計 3 問 (理論 1 問、実践 2 問) にとどまったことが報告された。全体として出題数は依然として少なく、領域としての存在感の低さが指摘された。

各設問の評価については、内容面では概ね「良問 (A)」または「概ね良好 (B)」と評価され、放射線の生体影響、放射性核種、核医学診断、MRI・CT 造影剤など、基礎から臨床応用まで幅広い内容が扱われていた。一方で、一部設問については、表現の曖昧さや用語の不適切さ、選択肢の構成に改善の余地があるとの指摘があった。

また、難易度については概ね適切と評価されたが、MRI 信号の原理など一部で過度に専門的な内容を問う設問も見られた。さらに、放射性壊変や核種の性質に関する問題では、定義や記述の厳密性に関する議論がなされた。

2. 薬学生や薬剤師の放射線教育について/薬学部における放射化学・放射薬品学教育に関する実態調査 (河嶋 秀和先生, 京都薬科大学)

薬学教育における放射線関連教育の現状把握と今後の教育体制の検討を目的として、全国の薬学部教員を対象に実施された調査の結果を紹介した。

まず、放射線関連教育は特定の科目に集約されるのではなく、化学系、物理系、衛生系、臨床系など複数領域に分散して配置されている実態が報告された。その結果、カリキュラム全体に放射線関連内容が埋め込まれる形となっていることが明らかとなった。また、教育は主に2～3年次に実施されるケースが多いが、1年次から扱う大学も存在した。

一方、教育上の課題として、①国家試験における重要度の低さ、②創薬・臨床応用への体系的教育の不足、③放射線施設維持の負担、④学生のキャリアとの乖離などが指摘された。また、RI創薬の需要増加に対し、人材育成が追いついていない現状への懸念も共有された。

実習に関しては、放射線管理区域を有する大学は約半数にとどまり、実習実施の有無も拮抗していた。RIを実際に使用する実習はさらに限定的であり、設備やコスト、人的資源が制約となっている。一方で、実践的理解の観点から実習の重要性を指摘する意見も多く、仮想実習等の代替手法の活用も提案された。

さらに、カリキュラム充実の必要性については意見が分かれたものの、専門教員の不足、教育資源の減少、制度的支援の不足といった構造的課題が共通して認識された。支援策として、教員確保、設備整備、学外連携、教材開発、国家試験での位置付け強化などが挙げられた。

総括として、放射線教育は薬学教育において重要性が認識されつつも、制度・資源・人材の各側面で課題を抱えており、基礎教育と卒後教育を組み合わせた体系的な人材育成の必要性が示された。また、放射性医薬品の臨床的重要性の高まりを踏まえ、教育内容の再構築と社会的理解の促進が求められることが確認された。

3. 次回の紹介 (遠藤 朋宏 先生, 東京薬科大学)

次年度の世話人を担当される遠藤 朋宏先生より、次年度の会議は、2027年3月25日から28日に、東京の八王子で開催される、日本薬学会第147回年会の会期中に開催する予定であることが報告された。

4. その他

次年度委員長：向 高弘（神戸薬科大学）tmukai@kobepharma-u.ac.jp

次年度世話人：遠藤 朋宏（東京薬科大学）endoh@toyaku.ac.jp

文責：上田 卓見（2025年度世話人／大阪大学）

出席者名簿

奥羽大学・熊本隆之
大阪医科薬科大学・平田雅彦
大阪医科薬科大学・山沖留美
大阪大学・上田卓見
大阪大谷大学・森本正太郎
岡山大学・上田真史
金沢大学・小川数馬
金城学院大学・山口智広
岐阜医療科学大学・笹井泰志
岐阜薬科大学・立松憲次郎
九州医療科学大学・白崎哲哉
九州大学・秋田健行
京都大学・小野正博
京都薬科大学・河嶋秀和
近畿大学・松野純男
熊本大学・中村照也
神戸薬科大学・向高弘
神戸薬科大学・安岡由美
高崎健康福祉大学・吉田真
千葉科学大学・杉本幹治
千葉大学・甘中健登
千葉大学・上原知也
千葉大学・数多伸紀
帝京大学・長田洋一
帝京平成大学・中谷良人
同志社女子大学・根木滋
東京大学・秋光信佳（代理：小野口玲菜）
東京薬科大学・遠藤朋宏
東京理科大学・北島和己
東邦大学・五郎丸（新海）美智子
東北医科薬科大学・山本文彦
徳島文理大学・張功幸
徳島文理大学・植木正二
富山大学・櫻井宏明
長崎国際大学・高井伸彦
名古屋市立大学・保嶋智也
新潟薬科大学・安藤昌幸
日本大学・田口博之
日本薬科大学・高城徳子
兵庫医科大学・藤野秀樹
広島国際大学・井口裕介
広島大学・黒田照夫
福岡大学・瀬戸口修一
福岡大学・松永和久
福山大学・本屋敷敏雄
北陸大学・鍛冶聡
北海道医療大学・北浦廣剛
北海道科学大学・水上徳美
星薬科大学・廣瀬農
武蔵野大学・末木俊輔
明治薬科大学・斎坂ゆかり
横浜薬科大学・加藤真介
昭和医科大学・森一憲
昭和薬科大学・秋澤宏行
昭和薬科大学・尾江悟
昭和薬科大学・宿里充穂
湘南医療大学・加藤英明
摂南大学・山岸伸行
城西大学・河合洋
就実大学・山崎勤
立命館大学・小池千恵子